

# 報 道 資 料

平成28年7月27日  
こども・女性局こども家庭課  
児童虐待対策係  
担当：北・永岡  
電話：(内線) 2883  
(直通) 0742-27-8605

## 奈良県子どもを虐待から守る審議会 「第2回児童虐待重症事例等検証部会」の開催概要について

このことについて、下記のとおり報告します。

### 記

#### 1. 開催目的

今年4月に生駒市において発生した2歳男児死亡事案について、再発防止及び今後の対応策の検討に資するため、関係機関の関わり等について検証を行う。

#### 2. 開催概要

- ・ 日 時 平成28年7月27日(水) 9:45～11:35
- ・ 場 所 奈良県庁 5階 第1会議室(小)  
(奈良市登大路町30)
- ・ 主な議題
  - (1) 関係機関へのヒアリング結果の共有
  - (2) 問題点・課題の整理検討
  - (3) 検証報告書の構成
  - (4) 今後のスケジュールの確認
- ・ 出席委員
  - 才村 純(関西学院大学人間福祉学部教授)
  - 川真田 リエ(奈良弁護士会所属弁護士)
  - 佐藤 拓代(大阪府立母子保健総合医療センター 母子保健情報センター長)

#### 3. 開催要旨

##### ○関係機関へのヒアリング結果の共有

県中央こども家庭相談センター、生駒市こどもサポートセンター「ゆう」及び生駒市健康課等関係機関へのヒアリング内容について、担当委員及び事務局から報告し、共有を行いました。

## ○問題点・課題の整理検討

大きく次の3点の課題が存在しているとの認識が示されました。

### ①アセスメントにおける課題

- ・ 職員の面接スキルとアセスメント技術の向上の必要性
- ・ 支援の経過の中で、子どもの成長発達に合わせたアセスメントをしていく必要性

### ②要保護児童対策地域協議会の活用における課題

- ・ 実務者会議や個別ケース検討会議で各機関のもっている情報を積極的に共有し、支援方針を検討していく必要性

### ③相談支援機関の体制における課題

- ・ 子どもの安全確認等の必要な対応を実施する人員体制の充実
- ・ 適切な支援を行うためのスーパーバイズ体制の充実

## ○検証報告書の構成

- ・ 関係機関用の詳細版とプライバシーに配慮した公表版を作成することとなりました。
- ・ 「事例の概要、問題点・課題、再発防止に向けた提言」の構成で、まとめていくこととなりました。

## ○今後のスケジュールについて

ヒアリングの結果、再発防止に寄与する検証に必要な情報が乏しいことから、父親の公判後に報告書をまとめることとなりました。